

市政ホット ニュース

hot news!



路面電車については、将来の在り方や活用策など、市民議論の機会を設けていく予定です

hot news

市営交通の方向性について 「交通事業改革プラン」がまとまる

事業の見直しと経営の効率化を盛り込む
バス事業は廃止し全路線を民営に移行

巨額な累積赤字を抱える市営交通は、バス・電車・地下鉄の三事業すべてで収支の黒字化が見込めない状況にあります。そこで、各事業の今後の方向性と経営効率化について、「交通事業改革プラン（平成十四～十八年度）」をまとめました。

各事業の方向性と主な取り組みは次の通りです。

①市営バス四十六の路線の運行サービスを段階的に民営バス事業者に移行し、平成十六年に、バス事業を廃止します。なお、市民生活に影響を及ぼさないよう、生活路線をはじめ、現行運行サービスを維持するため、市として適切な対策を講じます。

②路面電車平成十五年度末をめどに、事業の存廃を含め、在り方や活用策について、広く市民議論を行います。

③地下鉄駅業務の委託推進や車両工場業務の外注を拡大するなど、一層の経営効率化に取り組めます。また、国に対

し財政支援制度の拡充を求めながら、なお不足する事業資金については一般会計から財政支援を講じて、安定的なサービスの提供を目指します。昭和二年の市電運行に始まった市営交通は、街の発展に伴い、市民の足として公共交通の中心的な役割を担ってきました。しかし、車社会の進展やバス事業の規制緩和など市営交通を含む公共交通を取り巻く情勢は大きく変化しています。

改革プランは、こうした社会情勢に対応した都市経営が必要とされる中で、地下鉄を中心とした公共交通ネットワークを効率的・安定的に維持することを目的に、市営と民営が担う役割を見直していくこととするものです。

市では、総合交通政策やまちづくりの観点を踏まえ、改革プランを推進し、公共交通の維持に努めていきます。

【詳細】交通局財務課（896）
2726